



# 湿地： 世界中で消滅が続いている

驚くべきことに、いくつかの科学的推計によると、1900年  
以来、世界の湿地の64%が失われたことがわかりました。  
いくつかの地域、特にアジアでは、さらに大きな割合で消  
滅しています。内陸の湿地は沿岸部の湿地よりも早い速度  
で消滅していますが、全体の傾向は明らかです。

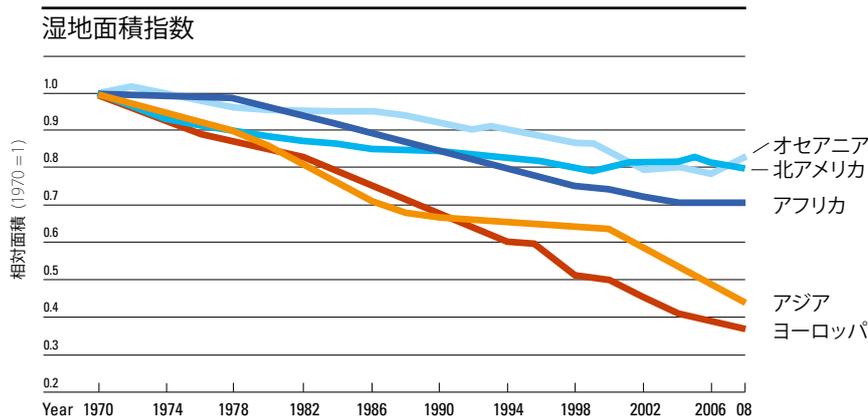


その結果、地球全体で10~20億人の  
人々が淡水の不足に悩まされていま  
す。洪水のコントロールや炭素の蓄  
積、湿地で行われる昔ながらの生活な  
ど、すべての面で困った問題が起きて  
います。一方、WWFの『生きている地球  
指数』によれば、1970年から2010年  
の間に淡水に生息する生物の個体数が  
76%も減ったことがわかっています。

ラムサール条約は、最近数十年間の湿  
地減少の度合いを示す『湿地面積指  
数』の共同スポンサーのひとつです。こ  
れは、1970年から2008年にかけて世  
界1000か所以上の湿地で得られたデ  
ータを基に、減少の度合いを測るもの  
です。これらの湿地ではこの間に全体  
平均で40%縮小がみられました。個々  
の湿地や地域による違いは大きいも  
の、全体の傾向は明らかです。

湿地の減少を引き起こすもの  
残念なことに、湿地はしばしば不用の  
地とみなされます。つまり、水を抜いた  
り、埋め立てたり、何か別の用途に使  
ったりすべき場所と考えられています。  
湿地の荒廃と減少の主な原因には次  
のようなものがあります。

- 土地利用の大きな変化、特に農耕と放牧の増加
- ダムや水路、運河などによる水の流れの改変
- インフラ開発、特に川の流域や沿岸部における開発
- 大気汚染、水質汚濁、過剰な栄養分の流入



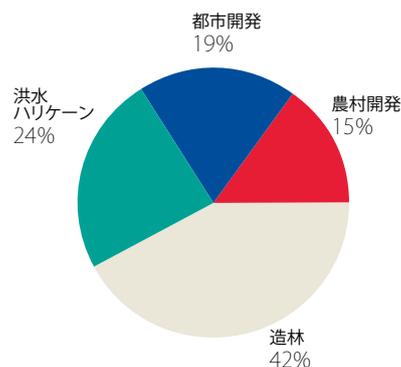
生物多様性条約テクニカルシリーズ No. 78: Progress Towards the Aichi Biodiversity Targetsより



## かつての湿地は今どこに？

湿地減少の原因は国によって大きく異なります。アメリカ合衆国では樹木の伐採など森林関係の利用のための湿地への排水工事によって、1998年から2009年にかけてかなりの割合の湿地が失われました。洪水、ハリケーンも減少の大きな原因のひとつです。都市開発や農漁村の開発は合わせても、湿地減少の原因の3分の1強でしかありません。

アメリカ合衆国における  
湿地減少の原因 1998-2009



出典：アメリカ合衆国魚類野生生物局編 *Status and Trends of Wetlands*

## 政策決定者にできること

政策決定者は次のような方法で湿地減少の速度を緩めたり、減少を止めたり、逆転させることができます

- 湿地が提供する生態系サービスに配慮した政策や方針を作り、それを土地利用計画に組み込む
- 残されたすべての湿地を賢明に利用する。生物多様性や湿地がもたらすその他の恩恵を維持しながら人間の需要を満たす
- 荒廃した湿地を再生する
- 湿地保全のための財源を作る
- 他の人々に湿地の価値について知ってもらう

写真提供：Swiss Study Foundation



現場レベルでの賢明な管理に関するさらに詳しいアドバイスは『ファクトシート2 湿地：湿地における賢明な利用の原則』に記載しています。各人が湿地のためにできる行動は、ファクトシート4 湿地：私たちにできること』に詳しく述べられています。

## さらに詳しく知りたい人へ

ラムサール条約は湿地に関わる人々や政策決定者のために、多くの参考資料を用意しています。特に役に立つのが『ラムサールハンドブックシリーズ(英語)』で、この一連の小冊子には、政策決定から地元住民参加による調査や湿地管理まで、湿地に関するすべての事項について、詳しい指導や案内が載っています。このハンドブックは次のサイトから無料でダウンロードできます。

[www.ramsar.org/wise-use-wetlands](http://www.ramsar.org/wise-use-wetlands)

### ラムサール条約



一般にラムサール条約として知られる『国際的に重要な湿地に関する条約』は地球規模の政府間条約で、湿地と湿地資源の保全と賢明な利用のための国内行動と国際協力の枠組みを提供するものです。これは、世界ただ一つの湿地という単一の生態系に焦点を当てた条約です。

このファクトシートは、ラムサール条約が提供しています。統計の値は『Reference Sources sheet (参照元シート・別添・英語)』に掲載されている各種出版物やウェブサイトから引用したもので、個別にダウンロードできます。データについては、可能な限り正確かつ慎重に調査されたものを提供していますが、本書の内容はいかなる保証も与えるものではありません。